



平成 24 年 7 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091-1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木 下 憲 明
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

アルツハイマー病の診断薬の共同開発に関するお知らせ

株式会社免疫生物研究所（代表取締役社長：清藤勉、群馬県藤岡市）とアイ・ビー・エル・インターナショナル社（IBL-International GmbH, Managing Director：Jan Boesen（ヤンブーセン）、ドイツ・ハンブルグ市）（以下、IBL-I 社）は、本日、アルツハイマー病に深く関与する「アミロイド B タンパク質」を測定する診断薬の共同開発契約を締結しましたのでお知らせいたします。

記

当社は、長年に渡り、アルツハイマー病の脳の多くに現れる老人斑を構成する数種の「アミロイド B タンパク質」を特異的に検出できる抗体及び ELISA 測定キットの研究開発に注力し、既に幅広い研究用試薬の製品化を実現してまいりました。

IBL-I 社は、十数年にわたり当社の製品を輸入販売しており、この経験を通じて、当社の製品ならびに販売において、幅広い知見・経験を蓄積しております。

両者は、これまで互いに蓄積した製造販売の経験を生かし、新たに本診断薬の製品化に向けた共同開発契約を締結いたしました。本契約締結により、当社は IBL-I 社に対し、原料抗体および測定キット製造のためのノウハウをライセンスアウトいたします。一方、IBL-I 社は、診断薬の製品化を行い、全世界へ販売する権利を有する事になります。

アルツハイマー病は、発症が確認されると治療の困難な疾患であるために、できるだけ早期の診断が重要であるといわれています。「アミロイド B タンパク質」の測定は、アルツハイマー病の診断に有用である事が認められており、早期診断への一翼を担うものと期待されております。このような状況の下、本診断薬の開発および製品化は、グローバル市場におけるアルツハイマー病診断分野において、当社の確固たるブランド地位の向上への大きな一歩となると考えております。

ご参考

【IBL-International GmbH（IBL-I 社）について】

IBL-I 社は、オランダの IBL-International ホールディング社の子会社であり、当社と資本関係はありません。主に、研究用や病院向けの診断に広く使用される、免疫学的な測定法に基づくキット製品を製造・販売しています。販売では、オランダ、ドイツ、米国に直接販売できる会社を有し、全世界への販売ネットワークを有しております。

(IBL-I 社 WEB サイト：<http://www.ibl-international.com/>)

以上